

実習・実技、企業連携等の取り組み

授業科目名	臨床実習	授業時数又は単位数	180時間
実施期間	平成29年6月～平成29年8月		
実習・演習等の目的及び概要	<p>学校にて学んだ基礎医学、臨床医学及び専門分野における理論、検査及び機器操作などの技術、患者様との実際の関わりを臨床現場で実際に行い、臨床工学技士として必要な臨床的問題解決能力及び実践力を身につける。</p> <p>また、医療従事者の一員としての立場を自覚し、チーム医療のあり方を知り、臨床場面での交流を通じて人間性豊かな臨床工学技士を目指す。</p>		
企業等との連携の基本方針	<p>臨床工学技士養成所指導要領「教育内容と教育目標」及び日本臨床工学技士会「臨床実習指導ガイド」に基づき、基礎的な実践能力を身につける。</p> <p>また、社会人として医療人として、節度ある態度、責任ある行動を自覚する機会とする。</p>		
企業等との連携内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 集中治療室（人工呼吸器実習含む）実習 2) 手術室（人工心肺装置実習含む）実習 3) 血液浄化装置実習 4) 高気圧酸素治療業務実習 5) 医療機器管理業務実習 6) その他（ME等）の業務 心臓ペースティング及び心臓カテーテル関連業務実習 		
学修成果の評価方法	<p>上記1)～6)実習項目毎に、身だしなみ、態度、積極性、協調性、知識、技能、報告書等、総合評価の8要素で評価する。評価は「A」・「B」・「C」・「D」・「E」で行い、「C」以上を合格とする。</p> <p>実習の成績評価は、実習前教育及び実習後教育、実習施設の評価、実習日誌及び実習後レポートを総合し評価する。</p>		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
4月～6月 週8日×8週	実習前教育 総合演習により実習生として及び臨床工学技士としての心構えを身に付けるとともに、医療のプロとしての基本を学ぶ。また、各実習領域における臨床現場で必要となる知識と技術の確認を行う。	学内
6月～8月	集中治療室（人工呼吸器実習含む）実習	医療機関 集中治療室
6月～8月	手術室（人工心肺装置実習含む）実習	医療機関 手術室
6月～8月	血液浄化装置実習	医療機関 透析室
6月～8月	高気圧酸素治療業務実習	医療機関 高気圧酸素治療室
6月～8月	医療機器管理業務実習 その他（ME等）の業務 心臓ペースティングおよび心臓カテーテル関連業務実習	医療機関 ME室 ｶﾏｰﾙ室
9月	実習後教育 実習日誌・レポートの確認を行い、学生同士の実習内容シェアリングから報告会を行う。また、最終評価を行う。	学内
連携する企業等	東邦大学医療センター大橋病院 昭和大学藤が丘病院 板橋中央総合病院 亀田総合病院 湘南藤沢徳州会病院	